

えんじゅ

令和5年10月16日発行

松原小学校 NO11

当面の主な行事予定

【令和5年度 10月】

- 18(水)町内陸上協議記録会
研究会のため5限授業
- 25(水)授業参観

当面の主な行事予定

【令和5年度 11月】

- 1(水)セーフティネット
避難訓練
ちろこ会草刈りボラ
ンティア
委員会
理科出前授業(5年生)
- 3(金)文化の日
- 7(火)中学校体験入学
- 13(月)朝マラソン開始
- 15(水)校内音楽会
- 22(水)マラソン大会試走
- 23(木)勤労感謝の日
- 27(月)家庭学習週間
- 29(水)校内マラソン大会
クラブ

調理実習

～9月29日・10月2日～



4年振りの調理実習となりました。5年生がご飯と味噌汁等、6年生がポテトサラダ、生姜焼き等を作りました。どちらの学年も小学校生活初めての調理実習ということでわくわく感いっぱい授業であったようです。

包丁で野菜を切るときには苦戦を強いられている様子も見られたようですが、煮干しの内臓を取り出してから出汁をとり味噌汁を調理していくなど本格的な調理もすることができました。家庭で調理をするのも興味深いと思いますが、学級の友達と一緒にする調理は、また格別の興味深さがあったことと思います。素敵な体験となりました。

祭り ～地域の伝統に～

10月に入ってからの子供達は、祭りの練習に参加したり、祭りで行事等の役をこなしたり、祭りを見に行ったりといった機会が多かったようです。地域の祭りが本格的に実施されるのはほぼ4年振りとあって子供達だけでなく地域全体が楽しみにしているようにも見えました。

そんな中、子供達には大勢の人が集まることの楽しさ、神輿や四つ太鼓または地域に受け継がれている踊り等を見物したり参加したりすることの楽しさ、出店などで買い物したり飲食したりすることの楽しさを満喫することを通じて、地域の伝統にも思いをはせることができているか、より好ましいものになったのではないかと感じています。

神社に参拝するのはなぜなのか、神輿を担ぐのにはどのような意味があるのか、四つ太鼓の起源はどこにあるのかなど、祭り体験をする中で少し考えてみれば不思議に思えてくるものがたくさんあります。伝統文化として伝わっているからにはそれなりに意味があることに違いはありません。子供達にはそんな視点を持つことができるように成長して欲しいものです。

福祉体験 ～10月3日～

3年生が体験しました。当日は美浜町役場および社会福祉協議会より3人の講師をお迎えしました。テーマは高齢者体験でした。



初めに、高齢になってくるとどのような症状が出てくるのか、そのような高齢者に対してどのような思いを持って接することが望ましいのかといったことを講義していただきました。

次に、高齢者体験用の眼鏡、ヘッドフォン、関節を曲げにくくするサポーター等を装着して歩く体験と、そのような人をサポートする体験を行いました。子供達は腰を曲げたり、音が聞こえにくかったりといった状況で友達にサポートされながら歩きました。

子供達は、高齢者の方々の不自由さを実感すると共に、サポートする側になったときの心掛けを学ぶことができました。

国際交流 ～10月6日～



約70名の訪問がありました。日本語に堪能な方も多くいらっしゃいました。14時前から～14時半過ぎまでの約40分間の交流となりました。前半は1～5年生までの教室を巡回。国語、社会、音楽、図工、理科を参観していただきました。後半は体育館にて6年生による「松小ソーラン」の披露でした。ソーランが終わった後には訪問した方々に大きな拍手をいただきました。

今回は和歌山にルーツを持つ方々との素敵な体験でした。子供達は有意義な時間を過ごすことができました。

県学習到達度調査 ～10月11日～

今年も4・5年生が挑みました。4年生は国語・算数、5年生は国語・算数・理科の学習の定着具合を点検する調査です。普段の授業は教科書を基に行いますが、教科書に示されていることがどの程度理解できているのか、どの部分の理解が十分でないのかといったことを学年別、個人別に確認します。

調査結果は子供達への学力確保に向けた取組に活かしていきます。